



港先生の熱い想い 新任理事 一ノ瀬先生をお迎えして



理事 一ノ瀬 正樹 (哲学者)
東京大学 名誉教授
オックスフォード大学 Honorary Fellow
武蔵野大学 教授
日本哲学会 会長

理事長・校長 塚原 港
学校法人塚原学園 理事長
あおば台初等学部 校長
あおば台幼稚園 園長
あおば台第二幼稚園 園長

1977年あおば台幼稚園、1995年あおば台第二幼稚園を開園、2009年青葉台初等学部、2016年中等学部(休校中)を開校し、現在に至る港先生。新しく哲学者の一ノ瀬先生を理事に迎え、これまでの歩みを紐解きながら教育理念を共有し、未来を展望していただきました。

“子どもたちに主体を持つ楽しさを”

港先生 生活教育の第一人者故久保田浩先生(吉城プラン)と筑波大学の故杉原一昭先生に学んだ「子ども主体の教育」が現在の理念の元になっています。きのくに子どもの村学園の堀信一郎先生にその実践を学びました。

港先生 初等学部の教育目標は、ありきたりだけでも、自立・創造・協調。

一ノ瀬先生 プラス、知力・思考力も重要な側面ですね。

港先生 つまり、ものを考える力、それが生活の基盤になるからですね。学習のはじまりは、人間は集団化されて命をつなぐために何を学ぶか。食べる、寒さをしのぐといった、衣食住のこと。基本は「生きる」ということ。我々が生きやすくするにはどうするか、というのが教育の根源になきゃだめだ。

一ノ瀬先生 それが学習のはじまりであり、教育の目的であると。

“生きている自分が「幸せだ」と言えるように学校生活を充実させます”

一ノ瀬先生 私は「幸せだと思える基盤を作ってあげるのが教育」だと考えています。

港先生 子ども自身は、まだ「幸せ」ってものが何のことかわからないね。

一ノ瀬先生 それはギリシア時代からの哲学の大難問です(笑)問い続けることが大事です。

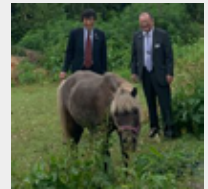
港先生 私が想うのは、幼稚園にきて友達に会いたい、楽しい嬉しいという状況が連続してあること、それが子どもたちにとっての幸せというんだ、そういう幼稚園をつくっていい。小学校も、今自分がやっていること、生きていることが楽しい嬉しいという連続性がある、そういう状況をつくってあげる。

一ノ瀬先生 今やっていることが楽しくて嬉しい。そうして、人のために世のために、生きがいをもって率先してしたことは、感謝されて、結局は自分の幸せにかえってくる。「ありがとう」と感謝されると、エンドルフィンなどの幸福物質が脳内に分泌されることがわかっています。

一ノ瀬先生 カリキュラムの一番の特色はファミリーですね。

港先生 ファミリアは衣食住を基本にして考える活動です。子ども自身が何をするか決める、自分でテーマを探して探究する、学校のまわりにあるものでもものづくりもする。衣食住は何をやっても教科につながります。

一ノ瀬先生 ものを考える力、思考力を培う機会がファミリーですね。知的な能力は知識の問題でなく、ものをどう捉えてどう理解していくかという思考力。



一ノ瀬先生 青葉台集会。これも初等学部の特色ですね。

港先生 1年生も6年生も同じ立場なんだ、人として意見はいろんな意見をもっているんだ。平等に自分の意見を言う、そういう効果が青葉台集会から生まれています。

一ノ瀬先生 未来の扉を開く4つの鍵 **Essp.for you** で実践している、子ども哲学につながりますね。

ファミリー

一日の生活の中に核となるファミリーという生活主体があります。そのファミリーとは、子どもたちが選んだ子どもたちのやりたい活動の小集団をいいます。その周りを教科学習で囲んでいきます。

大きなテーマが決まると、子どもたち一人ひとりがテーマを設定します。仲間とチームになったりわかれたりも学びの一つです。

計画書を作り、校外学習先を決めて予約をするのも子どもたちです。

ファミリー費の運用も大切な話し合いになります。予算を組み校長先生に提出し、出納帳係が管理します。

様々な発表の機会があり、ポスター発表・動画・プレゼンテーションなど表現力を磨きます。

R4年度ファミリー

つちのこファミリー (主に山に関すること)
海のサンシャインファミリー (主に海に関すること)

校外学習予定: 土浦市図書館(アルカス)・霞ヶ浦湖上体験・筑波山・釣り・大洗水族館・砂浜・上高津貝塚・イオンモールつくば



青葉台集会

全校児童による青葉台集会は、「子どもたちによる」「子どもたちのための」会議です。自分たちの学校生活がよりよくなるために、一人ひとりが自分の意見を持ち、お互いの意見を尊重しながら話し合いをしています。

自分たちの生活をよりよくしていくという意識を高め、月1回全校児童で話し合いをします。



おかわり委員会(現在は愛校委員会)

青葉台の給食はカフェテリア方式です。上級生がおいしいものをとってしまうことが問題になりました。子どもたちが出した解決策は、今日は一人何をいくつ、おかわりは何回までというのを、真ん中の3年生が決める、というルールでした。

未来の扉を開く4つの鍵を、特別にあなたに贈ります

Essp. for you



未来に羽ばたく子どもたちに、人生の達人になってもらいたい、そのためのエッセンスを凝縮した教育を目指すという「青葉台宣言」です。

English

世界を生き抜く技です

Sports

人生の基礎となる心身の健康は Sportsの習慣から

Science

世界を知ろうとする叡智を引き継ごう

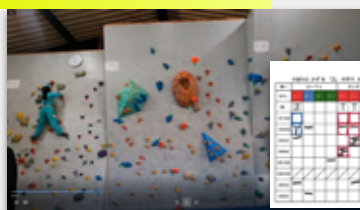
Philosophy

問い続けるタフな思考力へ

英会話



ボルダリング

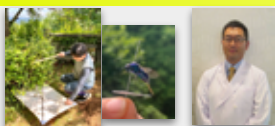


英語でグラフィックアート



Hello!! hope everyone does well in school this year! Do your best!

ゲストティーチャーによる特別授業



子どもの哲学 P4C (Philosophy for children)



子どもの純粋な疑問こそが世界の不思議を気づかせ、思考の楽しみを開いてくれる。それを助力するのがP4Cの役目です。

R4年度は、「ウソについていいときって、あるの」、「オバケって、いるの」といったテーマで行いました。低学年の子どもたちでも、一つの解答に定まらない、問題の深さに気づきました。それぞれの最後には、落とし所となるポイントを説明しました。

いまは、高校や大学の入試でも知識ならぬ思考力が問われます。青葉台ではそれを見越した基礎固めができます。ぜひ見学に来てください。

一ノ瀬 正樹

青葉台の教科学習

異年齢・少人数制による
学びあえる集団づくりと
子ども一人ひとりに寄り添う指導

学習が得意な子や苦手な子など、どんな子どもにも勉強が楽しい！と感じてもらえるように、一人ひとりに合った声掛けやサポートを教員一同行っています。

また、授業においては、発表・発言の機会を重視しています。P4Cでは、意見を述べる子には、先生からボールをパスしてもらってから話すというのがルールです。それ以外の子はしっかりと意見を聞きます。普段あまり発言しない子が活発に意見を言い始めるなど、面白い効果があります。

表現力と聞く力を育てる取り組みも、青葉台の特色の一つです。

検定チャレンジ

英語検定、漢字検定、算数・数学検定、理科検定など、様々な検定にチャレンジする「検定チャレンジ」の時間を設けています。

一人ひとりが自分の挑戦したい検定を選び、目標に向かって学習に取り組みます。

英検2級(高校卒業程度)、漢字検定3級(中学校卒業程度)、数学検定5級(中学校1年程度)などに合格する児童もいました。

卒業生の進学状況

過去5年間では、土浦日本大学中等教育学校、茗溪学園中学校他、

8割程度の児童が私立中学へ進学しました。

1・2年生時間割

	月	火	水	木	金
～8:30	登校				
8:35	朝の会/当番				
8:50					
①	国語	体育	国語	生活	国語
9:30					
9:40	②	体育	算数	書写	算数
10:20					
10:25	中休み				
10:35					
10:45	③	算数	国語	国語	音楽
11:20					
11:30	④	算数	図工	生活	英会話
12:10					
12:50	給食				
～13:05	昼休み				
13:10					
⑤	国語	ファミリア	ファミリア	ファミリア	国語
13:50					
14:00	⑥	算数	ファミリア	ファミリア	体育
14:45					
14:55	⑦	道徳	ファミリア	チョイス	朝会/委員会
15:30					
～16:00	清掃・帰りの会				
16:10	下校				

アクセス



● スクールバスの主な停留所

Aバス

並木大橋、つくば駅、研究学園駅

Bバス

ひたち野うしく駅、荒川沖駅、土浦駅

※ 上記以外の乗降については応相談。



主な行事

青葉台オリンピック 6月

青葉ダービー、親子競技、全校リレーなどユニークな競技とOBOGによる実況で盛り上がるアットホームな運動会です。



サマースクール 7・8月

キャンプ(3・4年生)、自然観察、地域の昔話、工作、手芸、クッキングなど多様な講座を楽しむ10日間の自由参加プログラムです。



エキサイトフェスティバル 11月

創作劇、ミュージカル、ライブ、ダンス、落語、和太鼓などオリジナルな舞台で作るのびのびと自由に表現する音楽祭です。



夢発表・進路宣言

5年生の5月に、自分のなりたい職業や進学したい学校について、在校生みんなに宣言をします。

お仕事調べ、中学校・高校・大学見学、職場訪問などで、興味・関心を広げて将来についての考えを深めます。

幼小交流

あおば台幼稚園・あば台第二幼稚園と年間を通して交流を行っています。ふれ合いを重ねるごとに思いやりの気持ちが育まれていきます。

劇や遊びで手作りのおもてなしをします。子どもたちは、どんなことをしたら楽しんでくれるのかを考え、準備をします。リハールもいろいろなことを想定して、取り組む姿があり成長を感じます。

学校概要

学級編成	1学年最大20名の少人数学級 男女 / 1~6年生
授業日	毎週 月~金 登校 8時30分 下校 16時10分
休業日	土曜日、日曜日、祝日 夏季・秋季・冬季・学年末始
学期	前期 4月1日~9月30日 後期 10月1日~3月31日
開校	2009年4月1日 茨城県県南地区初の私立小学校(一条校)
宗教教育	行わない
児童保育	あり(在籍児童のみ) 夕 ~18:00 (有料)



青葉台初等学部 保護者の会主催

塚原学園 教養ゼミナール

青葉台初等学部、あおば台幼稚園、あば台第二幼稚園の保護者を対象とした講演と哲学トークの会です。一ノ瀬先生による司会で、年間5回開催します。

R4年度前期のテーマ

vol.1 20年後の医師のお仕事
テクノロジーの進化で医療はどこに向かっていくのか?

vol.2 新材料が世にでるまで
つくば市近郊に居住する材料学研究者の生態について



学校法人 塚原学園
青葉台初等学部

〒315-0056 茨城県かすみがうら市上稲吉 中山1518

TEL:029-830-2311

<https://www.aobadai.ac.jp/school>

※ 駐車場あり

